

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市中央いきいきプラザ 千葉市花見川いきいきプラザ 千葉市稲毛いきいきプラザ 千葉市若葉いきいきプラザ 千葉市緑いきいきプラザ 千葉市美浜いきいきプラザ	千葉市蘇我いきいきセンター 千葉市花見川いきいきセンター 千葉市さつきが丘いきいきセンター 千葉市あやめ台いきいきセンター 千葉市大宮いきいきセンター 千葉市都賀いきいきセンター 千葉市越智いきいきセンター 千葉市土気いきいきセンター 千葉市真砂いきいきセンター
条例上の設置目的	・千葉市老人福祉センター設置管理条例（昭和59年千葉市条例第20号）第1条で設置する老人福祉センター ・千葉市いきいきセンター設置管理条例（平成14年千葉市条例第14号）第1条で設置するいきいきセンター	
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	・高齢者の健康の増進、教養の向上、世代間交流等の機会を提供することにより、高齢者が健康で生きがいのある生活が送ることができる地域社会を構築していく。 ・高齢化の進展を見据え、できる限り住み慣れた地域で高齢者が自立した生活が送れるよう、「地域包括ケアシステム」の構築・強化を図っていく。	
ミッション （施設の社会的使命や役割）	・高齢者が学習意欲を発揮し、地域社会への参画意識を持てるような機会を提供していく。 ・高齢者の健康づくりや介護予防の場を提供していく。	
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上により、さらに多くの高齢者に施設を利用してもらう	
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートによる利用者満足度	
数値目標※	① 平成27年度利用者数を基準とし、千葉市の高齢者人口の伸び率を乗じた人数以上 ② 満足度60%以上	
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課	

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人 千葉市社会福祉事業団
構成団体（共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	平成23年度に実施した外郭団体の事務事業の見直しの結果を踏まえ、いきいきプラザ及びいきいきセンターのような安定的なサービス供給が求められる施設の指定管理については、公募によらない方法により、外郭団体に行わせるべきサービスとして整理され、平成24年度に各条例を改正し、公募によらない方法により指定管理を行うこととなった。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

(ア) 施設利用者数

施設名	数値目標 (※1)	H30年度実績	達成率	評価
千葉市中央いきいきプラザ	59,896	57,854	96.6%	C
千葉市花見川いきいきプラザ	76,356	67,174	88.0%	C
千葉市稲毛いきいきプラザ	70,761	66,920	94.6%	C
千葉市若葉いきいきプラザ	89,396	80,404	89.9%	C
千葉市緑いきいきプラザ	60,060	62,498	104.1%	C
千葉市美浜いきいきプラザ	128,587	121,054	94.1%	C
千葉市蘇我いきいきセンター	19,056	24,582	129.0%	A
千葉市花見川いきいきセンター	37,119	34,261	92.3%	C
千葉市さつきが丘いきいきセンター	19,965	19,985	100.1%	C
千葉市あやめ台いきいきセンター	13,499	18,708	138.6%	A
千葉市大宮いきいきセンター	13,207	10,768	81.5%	D
千葉市都賀いきいきセンター	30,239	20,911	69.2%	D
千葉市越智いきいきセンター	11,566	14,275	123.4%	A
千葉市土気いきいきセンター	12,507	25,346	202.7%	A
千葉市真砂いきいきセンター	22,665	20,294	89.5%	C
合計	634,640	645,034	101.6%	C

※1 31年3月末60歳以上人口300,871人÷27年3月末全市60歳以上人口288,885人＝104.15%
各施設27年度実績×104.15%＝数値目標

(イ) 利用者アンケートによる満足度

施設名	数値目標 (※2)	H30年度実績	達成率	評価
千葉市中央いきいきプラザ	60%	79.9%	133.2%	A
千葉市花見川いきいきプラザ		73.9%	123.2%	A
千葉市稲毛いきいきプラザ		79.1%	131.8%	A
千葉市若葉いきいきプラザ		76.6%	127.7%	A
千葉市緑いきいきプラザ		81.3%	135.5%	A
千葉市美浜いきいきプラザ		69.5%	115.8%	B
千葉市蘇我いきいきセンター		78.3%	130.5%	A
千葉市花見川いきいきセンター		68.9%	114.8%	B
千葉市さつきが丘いきいきセンター		82.6%	137.7%	A
千葉市あやめ台いきいきセンター		81.7%	136.2%	A
千葉市大宮いきいきセンター		85.3%	142.2%	A
千葉市都賀いきいきセンター		81.3%	135.5%	A
千葉市越智いきいきセンター		87.2%	145.3%	A
千葉市土気いきいきセンター		80.6%	134.3%	A
千葉市真砂いきいきセンター		81.6%	136.0%	A
合計		76.8%	128.0%	A

※2 算定方法は、6(1)アンケート質問6(6)の(満足+ほぼ満足)÷回答者数で算定

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

4 収支状況

(1) 収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	606,682	571,459	実績－計画	△ 15,156	事業実施内容の精査による。
	計画	621,838	602,073	計画－提案	△ 53,461	計画の精査による。
	提案	675,299	672,462			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	606,682	571,459	実績－計画	△ 15,156	
	計画	621,838	602,073	計画－提案	△ 53,461	
	提案	675,299	672,462			

イ 支出

(単位：千円)

費目	H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	411,152	397,055	実績－計画	△ 3,695	事業実施内容の精査による。
	計画	414,847	397,252	計画－提案	△ 22,464	計画の精査による。
	提案	437,311	434,721			
事業費	実績	92,397	92,040	実績－計画	△ 2,975	事業実施内容の精査による。
	計画	95,372	98,570	計画－提案	△ 21,947	計画の精査による。
	提案	117,319	117,348			
事務費（委託料を除く）	実績	37,247	41,626	実績－計画	△ 9,075	事業実施内容の精査による。
	計画	46,322	45,953	計画－提案	△ 5,145	計画の精査による。
	提案	51,467	52,143			
委託費	実績	46,728	47,644	実績－計画	△ 1,938	事業実施内容の精査による。
	計画	48,666	50,542	計画－提案	△ 4,470	
	提案	53,136	52,023			
その他事業費	実績	30,186	10,414	実績－計画	13,555	「ファイナンスリース債務の返済支出」を事業費から科目変更したため
	計画	16,631	9,756	計画－提案	565	
	提案	16,066	16,227			
本社費・共通費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	617,711	588,779	実績－計画	△ 4,128	
	計画	621,838	602,073	計画－提案	△ 53,461	
	提案	675,299	672,462			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	C	3 (1) ア 達成率101.6%
利用者アンケートによる満足度	A	3 (1) イ 達成率128.0%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	B	4 (1) イ 実績617,711千円÷提案675,299千円=91.47%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

－：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
管理運営については、引き続き、施設管理経費の縮減に努めていただきたい。	平成30年度	電気の契約を入札による一括調達としたり、高齢者福祉講座の講師をボランティアに依頼したりするなどし、経費の縮減に努めた。
施設を積極的に利用してもらうためにリーフレット等による募集時期の周知方法を統一していただきたい。	平成30年度	各施設ともリーフレットに在庫があるため、おおよそ配布が終了した段階で、周知方法を統一したリーフレットを配布する。リーフレットについては、現在広報委員会で検討中。10月頃までに素案を作成する予定である。
利用者ニーズに沿った運営により利用者満足度のさらなる向上に努めていただきたい。	平成30年度	応募の少ない高齢者福祉講座を見直す、空いている部屋を個人や少人数団体に貸し出す等の取組を行い、利用者ニーズに沿った運営を心掛けた。
事業報告書の「機能回復訓練」の「1日のながれ」について、午前の部と午後の部の2部構成であることがわかるように、表記の工夫をしていただきたい。	平成30年度	午前の部と午後の部を記載する列を分けて表記した。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容及び結果	調査方法	平成30年10月1日～31日の間、来館者全員にアンケート用紙配布。無記名にて記入の上、アンケート箱設置による回収。						
	回答者数	9,493人						
	平成30年度 アンケート結果							
	回答者個人属性							
	居住区 (人)							
	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	市外	無回答
	1,114	1,735	1,209	1,573	1,364	2,099	77	322
	性別 (人)							
	男性	女性	無回答					
	2,596	6,298	599					
	年代 (人)							
	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	無回答	
	274	1,488	2,802	2,771	1,473	409	276	
	世帯構成							
	ひとり暮らし	60歳以上のみの世帯	その他	無回答				
1,556	4,157	2,128	1,652					
							回答者数合計	
							9,493	
質問1 ご利用いただいている内容は次のうちどれですか。(複数回答可) (人)								
講座	2,998	同好会活動	4,473	ヘルストロン・マッサージ機	368			
講演会	301	体操教室	882	テレビ視聴	78			
機能回復訓練	627	入浴・シャワー	98	新聞・雑誌閲覧	100			
生きがい活動	1,012	カラオケ	247	その他	424			
世代間交流	65	囲碁・将棋	370	無回答	354			
生活・健康相談	74	トレーニング機器	77					
質問2 ご利用いただいている目的は次のうちのどれですか。(複数回答可) (人)								
介護予防	体力増進	心配ごとの相談	友人との交流	生きがいづくり				
1,069	2,920	42	2,301	1,852				
教養・知識の習得	趣味・レクリエーション	入浴	その他	無回答				
1,942	3,366	121	83	557				
質問3 どのくらいの頻度でご利用いただいていますか。								
ほぼ毎日	週4～5日	週2～3日	週1回	月1～2回	年に数回	無回答		
1.0%	3.0%	13.9%	20.3%	57.1%	0.9%	3.8%		
97人	283人	1318人	1926人	5422人	90人	357人		
質問4 いつからご利用されていますか。								
今年から	1年前から	2年前から	3年前から	4年前から	5年以上前から	無回答		
16.8%	8.1%	8.6%	10.3%	8.0%	40.4%	7.8%		
1593人	770人	812人	981人	761人	3832人	744人		
質問5 主催事業にご参加いただく際、何からお知りになりますか。(複数回答可) (人)								
市政だより	いきいきプラザだより	ホームページ	館内掲示	自治会等の回覧	知人の紹介	その他	無回答	
5,682	1,489	78	1,039	106	1,888	184	523	
質問6 運営状況について、感想をお聞かせ下さい。								
	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答		
(1)設備・備品類の配備状況について	20.1%	41.7%	32.4%	1.9%	0.3%	3.5%		
	1910人	3962人	3076人	179人	30人	336人		
(2)施設的环境(衛生面・安全性)はいかがですか	20.6%	42.6%	32.2%	1.1%	0.1%	3.4%		
	1957人	4043人	3059人	100人	14人	320人		
(3)職員の対応はいかがですか。	36.0%	40.6%	23.2%	0.0%	0%	0.2%		
	3324人	3747人	2143人	4人	2人	15人		
(4)施設や事業の案内、お知らせは充分にできていますか。	17.3%	36.8%	38.3%	2.1%	0%	5.2%		
	1647人	3495人	3637人	203人	15人	496人		
(5)ご利用いただいて介護予防になると感じられますか。	30.1%	42.9%	15.3%	1.0%	1%	9.9%		
	2858人	4069人	1448人	91人	84人	943人		
(6)全体としてどのように感じますか。	21.4%	52.3%	21.7%	0.4%	0%	4.1%		
	2027人	4965人	2064人	40人	9人	388人		
※(4)の回答は、「充分、ほぼ充分、普通、やや不十分、不十分、無回答」から選択								
※(5)の回答は、「そう思う、まあまあそう思う、普通、やや思わない、思わない、無回答」から選択								
※成果指標の利用者アンケートによる満足度は(6)の(満足+ほぼ満足)÷回答者数で算定 <u>76.8%</u>								

※各施設ごとのアンケート結果については、「参考資料1の1-4」に掲載。

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

市に寄せられた主な意見・苦情	市の対応
美浜いきいきプラザ上階のマンション住人より、カラオケの音がうるさい、別の部屋でやるか、防音工事をしてほしい。	スピーカー位置を変更し、音源、マイク音量、エコーなどを大幅に下げ対応した。(その後苦情なし)
指定管理者に寄せられた主な意見・苦情	指定管理者
ヘルストロン・マッサージ機の時間が1人20分と決められているのに、ルールを守らない人がいる。	現在、ルールを張り紙で周知している。それでも時間を守らない方には交替でご利用いただくよう声掛けし理解を求め承いただく。
飲食禁止の部屋で飲食をする人が増えてきた。館内に禁止の掲示をしてほしい。	館内及び各部屋に飲食禁止の掲示をした。
機能訓練室を利用しているところに、知り合い同士が話をしながらマッサージ器やヘルストロンを利用している。その話を聞かされるのも大変苦痛なので、訓練室での会話はやめるよう注意喚起してほしい。	機能回復訓練室での会話は禁止していない。しかし、マッサージ器は15分、ヘルストロンは20分と使用時間が決められているため、機器の使用時間を厳守する掲示をし、節度のある会話を楽しんでもらうための協力を呼びかけた。
都賀いきいきセンターの駐車場がいつも満車。1時間以上前に来たり、有料駐車場に停めたりと苦労している。この駐車場に停めて駅の方へ向かう人も見かける。駐車場の管理が緩いのではないか。	現在駐車場には、当センター利用者以外の駐車を規制する看板を2カ所設置して対応している。駐車台数には限りがあるので、公共の交通機関でのご利用をお願いした。
都賀いきいきセンターは改装したばかりにも関わらず、床のカーペットが汚い。	改装時に床のカーペットの貼り替えは行っていなかったため、クリーニングを行い対応した。
機能回復訓練の血圧測定の際、長蛇の列になってしまうので、血圧計の台数を増やしてほしい。	血圧計を購入し対応した。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

ア 全体

総括評価	B	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業の強化 「健康づくりで介護予防」講座を、全ての区で開催した。現状、介護予防に関する認識は低く、応募数は低迷している一方で、介護予防に関連する機能訓練や体操系事業のニーズは高いため、広報活動を充実させる事で飛躍的に認知度も伸びると考えられる。よって、今後も事業の内容等検討を重ね広報を更に強化し継続して取り組んでいきたい。 ・広報の強化 プラザ・センターの魅力を伝える手段として、機関誌配布、ポスター掲示新聞折込、近隣へチラシ配布、ホームページ等力を入れ成果が得られた。
------	---	----	--

イ 施設別

施設名	総括評価	所見
中央いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの一翼を担えるよう、地域のあんしんケアセンターや松ヶ丘地区の円卓会議等において、地域の社会資源と連携し協力体制の強化に力を注いだ。 ・利用者の知的趣味活動の一環として、いきいき川柳を実施し多数の応募をいただけた。また、館内掲示する事で来館者に詠む楽しみを提供した。 ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・地区の自治会等で体操指導をする出張体操を継続して実施し、地域の高齢者が気軽に介護予防事業に参加できる機会を提供した。 ・看護学校・介護等体験・職場体験等の実習活動を積極的に受け入れ、地域の学生に高齢者との関わりを学ぶ機会を提供する役割を果たした。
花見川いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へ積極的に声をかけることで信頼関係の構築を図り、生活相談や健康相談に繋げることが出来た。 ・地域包括ケアシステムの一翼を担えるよう、地域のあんしんケアセンターと連携し協力体制を図った。 ・地域交流として、一般市民に広くいきいきプラザを理解していただくことを目的に、夏休み子供映画上映会、福祉バザー、クリスマスコンサート等を開催し、パンフレットの配布等により広報活動に努めた。福祉バザーにおいては年2回実施した。 ・看護実習・介護等体験・職場体験等の実習活動を積極的に受け入れ、地域の学生に高齢者との関わりを学ぶ機会を提供する役割を果たした。

<p>稲毛いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・あんしんケアセンター、障害者施設、介護保険事業所、保健福祉センター、自治会等が参加する地域会議に参加し、地域との協力体制の強化に努めた。 ・健康測定会、出張健康測定会を昨年度より多く実施し、地域の高齢者の健康増進に努めた。 ・毎朝、ラジオ体操を行うことで、講座や講演会の体操教室等に参加しない方も参加するようになり、体操を習慣化できた。 ・空き部屋を活用して健康麻雀の機会を提供することにより、個人利用が増加した。 ・自治会の行事や防災訓練、公園清掃などに協力することで地域住民との信頼関係を深め、今後の地域の高齢者の課題に取り組む準備を進めた。 ・フェスティバルで地域の障害者施設の出店やボランティア団体による公演を行い、地域交流に努めた。
<p>若葉いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者講演会、世代間交流については、事業計画を上回る回数を実施した。 ・高齢者の地域生活を多方面から支援する社会資源の一翼を担うべく、従来から連絡、連携をとっている関係機関（保健福祉センター、あんしんケアセンター5カ所、社会福祉協議会、民生・児童委員、生活支援コーディネーター、老人クラブ連合会、地区病院の地域連携室）との定例会議に出席するとともに、必要に応じて個々に連絡をとり協力体制を強化した。 ・自主事業としていきいき健康体操、毎朝ラジオ体操第1・第2を行う自由参加の体操会を開催した。 ・看護実習を受け入れ、高齢者の健康保持や地域生活支援について学習し、交流する機会を設けた。
<p>緑いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への広報誌の配布やイベントのチラシ掲示、自治会への回覧の依頼等、積極的に広報を行い利用促進に努めた。 ・地域のあんしんケアセンターのネットワークと連携し事業周知に努めた。また自治会館等での出張健康測定会や健康フェスティバルの出張生活相談会を協同で開催し協力体制の強化を図った。 ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・緑区健康課、あんしんケアセンター等関係機関と連携し、地域商業施設で「健康測定会」「緑区健康フェア」を開催し事業の周知と広報を行い新規利用者の獲得に努めた他、介護予防事業等を円滑に推進するための連絡会に出席し情報共有を行った。 ・利用者交流事業として、利用者に人気のある「紅白歌合戦」「落語会」「ギター演奏会」等を開催し、交流支援と利用促進を図った。 ・空き部屋の有効活用を図るため、卓球、健康麻雀を一般開放し、個人利用者の利用促進と空き部屋の有効活用に努めた。 ・積極的な広報による事業周知と、講演会他介護予防事業の拡充、関係機関との連携を行った。
<p>美浜いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業として地域老人クラブ集会所及び商業施設等に出向き、美浜区健康課、あんしんケアセンター、社会福祉協議会のほかUR都市機構・イオン・地域のスーパーマーケットなど関係機関と連携を図り出張体操・健康相談・血管年齢測定等を実施し地域高齢者の社会参加促進と介護予防の啓発に勤めた。（定期5か所・不定期4か所） ・同好会活動への支援。今年度115団体の登録があり部屋の使用や会員募集、フェスティバル開催により活動の場を設けるなどの支援を行った。 ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。その中で11回が介護予防系の企画で好評を得た。 ・個人利用の機会の提供。団体利用の少ない日曜日に空いている部屋を用途別に個人や少人数のグループに一般開放し、利用促進と活動支援に努めた。 ・ボランティアを積極的に受け入れ、63企画に延べ178人のボランティアを受け入れ地域住民との交流および施設の広報に努めた。

<p>蘇我いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・同建物内にある蘇我子育てリラックス館や蘇我地区子どもルーム、近隣の蘇我小学校の児童と積極的に世代間交流を行った。 ・蘇我いきいきセンターフェスティバルでは、高齢者の日頃の練習の成果の発表を行い、地域住民も参加しやすいようイベント内容を工夫し地域交流を図った。 ・高齢者や学生等のボランティアを、延べ259人受け入れた。また看護実習や近隣中学の職場体験を受け入れ、地域貢献を行った。 ・地域に出向いて行う出張体操では、センターまで来ることが難しい高齢者の介護予防に努めた。 ・あんしんケアセンターの主催する地域ケア会議で、地域の関係機関と情報交換や連携に努め、必要に応じて個々に連絡を取り協力体制を強化した。また、隣接する蘇我コミュニティーセンターまつりへの参加、近隣施設や自治会などへの機関誌の配布及び回覧やいきいきサロンへ訪問し事業説明を行うなど、広報活動に努めた。
<p>花見川いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・健康フェスティバル以外の自主事業として、脳年齢測定会を年2回開催、看護師による健康セミナーも開催した。 ・生きがい活動支援通所事業の定員を増加し実施した。 ・地域密着型の施設づくりを目指すために、花見川団地自治会、住宅自治会花見川公民館、地域の小・中学校、あんしんケアセンター等の団体と協力し行事を実施した。
<p>さつきが丘いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。歌声集会を初めて開催し、日曜日の利用の拡大を図ると共に、歌唱を楽しむ場を提供した。 ・社協地区部会との連携により、福祉まつりの実施、健康体操指導を行った。あんしんケアセンターや公民館、保育所や小学校、地域の老人会等地域の団体とも連携し、各種行事や出張体操を行った。 ・自主事業である100歳体操は、多くの参加者の要望に応え、定員を増やして開催し好評を得た。
<p>あやめ台いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・世代間交流では、あやめ台小学校に立地していることを活かし、子どもルームや小学校と頻繁に交流会を開催した。 ・健康麻雀教室を利用者自らが主体的に他者と関わり活動するよう自主活動に移行した。 ・ポッチャをより多くの方に広める取り組みとして公式ルールの大会や練習会を開催した。 ・あんしんケアセンター、生活支援コーディネーター、介護保険事業所等と連携し、地域の高齢者への情報発信を行う会を立ち上げた。 ・出張健康測定会を新規の地域であんしんケアセンターと合同で開催した。 ・事業の広報としてポスティングや広報誌のレイアウトや内容の見直し、近隣への配布を行った。
<p>大宮いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・介護予防や高齢者が安心・安全に地域生活を送る上で役立つことをテーマに、興味・関心を深める内容で高齢者福祉講座や高齢者講演会、体操教室などを数多く開催した。 ・大宮小校内に併設されている特性を生かし交流会を開催するとともに、職員が学校評議員を務めた。 ・高齢者の地域生活を多方面から支援する社会資源の一翼を担うべく、保健福祉センター、あんしんケアセンター、地区内の病院の地域連携室と協力・連携した。 ・自主事業として、いきいき健康体操、出張体操を開催した。 ・利用者が少ない週末に高齢者講演会の開催し、卓球・麻雀台の利用を促す等、利用者の増加を図った。

都賀いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模修繕により約1年休館していた期間に利用できなかった方々に対し、再利用していただくための広報活動を積極的に行った。 ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・介護予防や高齢者が安心・安全に地域生活を送る上で役立つことをテーマに、興味・関心を深める内容で高齢者福祉講座や高齢者講演会、体操教室などを数多く開催した。 ・地域交流会としてフェスティバルの他、音楽会を開催した。 ・高齢者の地域生活を多方面から支援する社会資源の一翼を担うべく、保健福祉センター、あんしんケアセンター、地区内の病院の地域連携室と協力・連携した。 ・自主事業として、いきいき健康体操、出張体操を実施した。
越智いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地区町内会、民生委員等の関係機関と連携し、情報共有や情報交換を行った他、月1回地域サロンを訪問し、介護予防体操や健康相談を実施し、地域に密着した支援に努めた。また、地域包括支援センター、区社会福祉協議会とも協同して商業施設での「健康測定会」や「緑区健康フェア」等のイベントに取り組み、関係機関との連携強化と施設の広報に努めた。 ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。また、いきいき体操の他、独自事業としての脳トレ教室を越智センター、おゆみ野ふれあい館で定期的に行うとともに、近隣へ出張体操に出向き、身体を動かすきっかけ作りの提供に努めた。 ・越智公民館とイベント等で連携を図り、幅広い交流を行った。
土気いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回地域ケア会議（見守りネットワーク土気）に参加し、あんしんケアセンターや民生委員、区社会福祉協議会、地区高齢生涯支援課等と情報交換・情報共有を行い、連携と協力体制の強化に努めた。 ・緑区健康課やあんしんケアセンターと協働してイオン鎌取店で「健康フェア」を開催し、施設の広報と周知に努めた。 ・あんしんケアセンター土気、緑区健康課と協力して、地域の商業施設（カスミアすみが丘店）で「健康フェア」を実施し施設の広報と地域住民の健康意識の向上に努めた。 ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・世代間交流事業を年6回実施し、広報と地域交流に努めた。 ・地域の自治会やいきいきサロンへ出向き、健康測定会や介護予防体操教室を年4回実施した。 ・広報による施設の周知、講演会他介護予防事業の拡充や関係機関との連携を行った。
真砂いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業として健康測定会を年3回開催。それぞれ「血流測定会」「骨密度測定」「脳年齢測定会」のテーマで行い、センター利用に繋がるように健康に関するイベントを開催した。 ・個人利用の促進として、ご希望が多かった囲碁・将棋・マージャンが出来るよう環境を整備し個人利用の増加に努めた。 ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・地域関係機関との連携。あんしんケアセンター・特別支援学校等と講演会、交流会を共働開催で行うなど連携を図った。 ・新規利用者獲得に向け出張体操やイベント等において、センター便りの配布や掲示を依頼し、センターの広報活動に努めた。

(2) 市による評価
ア 全体

総括 評価	B	所見	<p>市の求める水準に即した管理運営が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数は、市の定める数値目標を上回った。 利用者アンケートによる満足度は市の定める数値目標を上回った。 管理運営の履行状況は、各種事業を市の定める実施回数以上実施するなど、市の定める水準を上回る管理運営が行われた。 施設管理経費縮減では、経費を節減した。
----------	---	----	--

	利用者数	満足度	管理運営の履行状況							管理 経費 縮減	総合	A又はB の割合	D又はE の割合
			1 市民 の平等利 用の確保 ・施設の	2 施設 管理能力 (1)	2 施設 管理能力 (2)	3 施設 の効用の 発揮(1)	3 施設 の効用の 発揮(2)	3 施設 の効用の 発揮(3)	4 その他				
市による評価	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
中央いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
花見川いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
稲毛いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
若葉いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
緑いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
美浜いきいきプラザ	C	B	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
蘇我いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	40%	0%
花見川いきいきセンター	C	B	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
さつきが丘いきいきセンター	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%
あやめ台いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	40%	0%
大宮いきいきセンター	D	A	C	C	C	C	C	B	C	B	C	30%	10%
都賀いきいきセンター	D	A	C	C	C	C	C	B	C	B	C	30%	10%
越智いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	40%	0%
土気いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	40%	0%
真砂いきいきセンター	C	A	C	C	C	C	C	B	C	B	B	30%	0%

イ 施設別

施設名	総括評価	所見
中央いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 利用者からの要望を受け、講演会・イベント情報を掲載した広報誌を配布している。 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 人数が少ない同好会のために体験会を開催し、会員獲得の支援をしている。 世代間交流について、管理運営の基準を上回る回数を実施している。 近隣施設との連携として、地域ケア会議に参加し教育機関や自治会等と情報交換をしている。また、あんしんケアセンター、地域住民、中学生と連携し認知症徘徊声掛け模擬訓練を実施している。自主事業を創意工夫し実施している。 使用料の納付について、遅れがあった。
花見川いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の折り込み広告により高齢者福祉講座等の案内を配布し利用促進に努めている。 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 世代間交流を創意工夫し実施している。 自主事業として、千葉市知的障害者施設連絡協議会と連携し福祉バザーを開催している。その他、花見川いきいき体操等、各種自主事業を実施している。 使用料の納付について、遅れがあった。
稲毛いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 広報誌の配布箇所を25か所から40か所に増加させた。 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 世代間交流では、創意工夫し各種交流会を開催している。 地域交流として実施しているフェスティバルでは近隣施設に出店してもらうなど、内容を充実させた。 近隣施設との連携として、自治会、あんしんケアセンター、地区社会福祉協議会等と連携し徘徊模擬声掛け訓練を実施している。自主事業として、各種事業を創意工夫し実施している。

若葉いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ・子どもルーム、北谷津温水プール、コミュニティセンター、公民館へ広報誌を配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・世代間交流では創意工夫し各種交流会を開催している。 ・近隣施設との連携として、あんしんケアセンター千城台による出張相談の開催に協力した。自主事業として、ゲートボール大会、カラオケ大会など各種事業を創意工夫しながら実施している。
緑いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ・あんしんケアセンターネットワーク会議で広報を行う、近隣施設へ掲示物の依頼を行い等周知に努めて、来館者数は目標値を上回った。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・創意工夫し各種世代間交流を開催している。 ・地域交流として、いきいきプラザフェスティバルを実施している。 ・近隣機関のあんしんケアセンター土気と連携し、健康フェアを開催した。また、あんしんケアセンター誉田と連携し、寺院で健康測定会を開催した。
美浜いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ・既存のパンフレットに加え、新規利用者向けのパンフレットを作成し、近隣商業施設、美浜区高齢障害支援課等へ配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・会員を募集している同好会一覧を作成し、近隣施設へ配布している。 ・世代間交流を管理運営の基準を上回る回数実施している。 ・近隣施設との連携として、地域ケア会議で地区社会福祉協議会、美浜区健康課などと情報交換をしている。 ・自主事業として、近隣商業施設にて、血管年齢測定会を開催している。その他、創意工夫し各種自主事業を実施している。
蘇我いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会への広報誌の回覧数の増、近隣商業施設へ広報誌の設置、社会福祉協議会のいきいきサロンを訪問し広報誌の配布するなど利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・地域交流として実施しているいきいきセンターフェスティバルは、イベント内容を工夫するなどし、参加者が多く盛況である。世代間交流も創意工夫し各種行事をしており参加者が多い。同一建物内の子育てリラックス館と共同し夏祭りを開催するなどしている。 ・近隣施設との連携として、蘇我コミュニティまつりへの参加や、地域ケア会議での教育機関や自治会等と情報交換、あんしんケアセンターや地域住民、中学生と連携し認知症徘徊声掛け模擬訓練を実施するなどしている。 ・各種自主事業を創意工夫し積極的に実施している。
花見川いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設と連携し広報を行っており、特に花見川団地自治会の事務局ニュースは集客に寄与している。また、新聞の折り込み広告により高齢者福祉講座等の案内を配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・地域交流として実施しているいきいきセンターフェスティバルの参加者が多く盛況である。その他の地域交流として、映画鑑賞会、クリスマスコンサートなど、創意工夫し各種交流会を開催している。 ・各種世代間交流を開催しており、保育所との交流回数を増やすなど事業の拡充にも努めている。 ・自主事業として、地域の老人会からの要望を受け、看護師による健康セミナーを開催するなど、創意工夫し各種事業を実施している。
さつきが丘いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の折り込み広告により高齢者福祉講座等の案内を配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数実施している。 ・近隣施設等との連携として、地区社会福祉協議会と連携し福祉まつりを開催している。 ・自主事業として実施しているさつきが丘いきいき体操、いきいき100歳体操などの定員を増加し、利用者増に努めている。また、社会福祉協議会、公民会と共催で福祉祭を開催しており、今年度からセンター内でも健康体操と展示を実施している。

あやめ台いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがい活動支援通所事業に関する広報誌を作成し近隣世帯へポスティングしたり、生きがい活動体験会を開催したりして利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・世代間交流では、センターがあやめ台小学校内に立地していることを活かし、子どもルームや小学校と頻繁に交流会を開催しており参加者が多い。 ・創意工夫し、各種自主事業を積極的に実施している。学ぶ・い〜ねの会園生を立ち上げ、地域の薬局、安心ケアセンター、シニア会等と連携している。
大宮いきいきセンター	C	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・世代間交流では、センターが大宮小学校内に立地していることを活かし、小学校と定期的に交流し、ポッチャと給食交流などを実施している。 ・ポッチャ大会、昭和の名曲コンサートなど、創意工夫し各種自主事業を実施している。 ・施設利用者数は目標を2,439人下回った。
都賀いきいきセンター	C	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・世代間交流としてフェスティバルを実施。世代間交流も管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・近隣施設との連携として、あんしんケアセンター桜木の出張健康相談を受け入れ、同好会の体操の支援、指導員が生活相談をする際の助言等が行われている。また、生きがい活動の全体交流会を実施し、公民館などで出張体操を年間30回開催するなど、自主事業を創意工夫し行っている。 ・施設利用者数は目標を9,328人下回った。
越智いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設や自治会の回覧板等でチラシを配布、コンビニなどにポスターを掲示する、地域ボランティア団体に広報の協力依頼を行うなど利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・創意工夫し、各種世代間交流を開催している。 ・近隣施設との連携として、見守りネットワーク土気会議に参加し、民生委員、地区社会福祉協議会、あんしんケアセンター等と情報交換や広報の協力依頼をしている。 ・各種自主事業を創意工夫し積極的に実施している。
土気いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・土気あすみが丘プラザ、公民館、市民センター、近隣商業施設へ掲示物の依頼をするなど利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・世代間交流では、創意工夫し各種交流会を開催している。 ・近隣施設との連携として、見守りネットワーク土気会議に参加し、民生委員、地区福祉協議会、あんしんケアセンター等と情報交換をしている。また、緑区健康課と連携し緑区健康フェアにて健康度測定を実施している。 ・各種自主事業を創意工夫し実施している。

真砂いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のパンフレットに加え、新規利用者向けのパンフレットを作成し、近隣商業施設、美浜区高齢障害支援課等へ配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・近隣施設との連携として、地区社会福祉協議会、美浜区健康課などと地域ケア会議を開催し情報交換をしている。 ・自主事業として、近隣商業施設にて、血管年齢測定会を開催するなど、創意工夫し、各種自主事業を積極的に実施している。
------------	---	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、法人全体では前年に引き続いて良好、社会福祉事業区分の財務状況も全体で見れば、倒産や撤退等のリスクは認められないが、収入支出決算報告書について、指定管理と指定管理以外の部分の記載がわかりやすくなるよう工夫をされたい。
- ・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。
 - ① 評価シートについて、介護予防事業の効果がわかるような成果指標や数値目標について検討いただきたい、また、収支状況の差異について主な要因欄の記述の方法を検討いただきたい。
 - ② 60代の方や、男性の新規利用者の獲得に努めていただきたい。